

雨のなかのふれあい奉仕活動

今年のふれあい奉仕活動は雨でした。それにもかかわらず、地域の方もたくさん参加してくださっていて、とてもうれしく思いました。

私のグループは、2人の地域の方といっしょに活動しました。ごみを拾いながら、たくさんのお話をしました。

「部活は何しとるの？」と地域の方に話しかけられました。いきなり話しかけられたので、ちょっとびっくりしたけれど、その質問から会話がスタートしました。その後は、学校生活の話や、勉強の話をしました。期末テストが近かったので、相談すると「がんばってね。」と応援してくれました。また、「宮中生はえらいね。雨の中がんばってる。」とも言っていました。私はとても嬉しい気持ちになりました。地域の方々は、みんな笑顔で聞いてくださったのでとても話しやすかったです。

ごみについて印象に残ったことがあります。それは、公園のごみを拾っている時、水風船のごみがたくさん落ちていたことです。おそらく私たちとあまり歳がかわらない子供がおいっていたごみだと思えます。そのごみを見て地域の方が、「子供は親の行動をちゃんと見とんよ。親がちゃんとしてないから子供もごみが捨てられなくなる。」

と言っていました。その子供だけが悪いのではないなと感じました。これからごみを減らしていくためには、まず大人や私たちが小さい子供などに、ごみは道に捨てずに家に持って帰る姿、ごみを見つけたら自分のごみでなくても拾う姿を見せてあげないといけないなと思いました。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第26回 —

私の自慢の大和中学校

私は大和中学校が大好きで、大和中学校が自慢です。その理由はたくさんありますが、大きくは三つあります。

一つ目は、大和中学校の伝統でもある「あいさつ」が素晴らしいことです。本校は、生徒会を中心にレベル5の挨拶を行っています。この挨拶をずっと続けていってほしいと、生徒会執行部と各部長とで大和小学校を訪ね、挨拶運動を行っています。校内でも、執行部と各委員会の人が朝の挨拶運動を行っています。挨拶し合うとお互いに心地よくなり、距離がぐっと縮まって仲良くなれます。この挨拶は、学校においていた方々からいつも褒めていただいています。先輩たちからも「大和中で挨拶を身に付けていてよかった。」と聞いています。私は、このレベル5の挨拶が大和中学校の伝統として受け継がれていることがとても自慢です。

二つ目は、盛んな部活動です。朝練や午後練だけでなく、ほとんどの土曜、日曜日も熱心に部活動に励んでいます。昨年度野球部は県大会準優勝、バレー部はベスト8などの成績を残しています。その大変な練習の中で、心身が鍛えられます。そのおかげで大和中生は少しのことでもめげたりしません。

三つ目は、毎日のクラス合唱です。きれいな声で、みんなで楽しく笑顔で歌うことを意識して合唱しています。毎週木曜日は、全校朝会で各学年が発表し合っています。文化祭でも、それまでに練習したことを出しきり、仲間を信じて思いっきり歌っています。その歌声は多くの聴く人を感動させています。

他にも三原市で唯一冬季の寮があることや、菊作りを行って地域の施設にプレゼントしていることなど、大和中学校にはたくさん誇れる自慢や伝統があるので、これらの自慢や伝統をずっと大切に受け継いでいこうと思います。

